

ぱれっとつうしん リニューアルに向けて Vol. 2

アンケート内容を検討して、取り入れる

ぱれっとつうしんのリニューアルに向けて、読者が通信をどのように受け止めているのか、どのような内容を求めているのかを把握するため、アンケート調査を行いました。その結果を元に、編集委員が新しい誌面に盛り込む具体的なコーナーを考え、新しい通信の誌面構成のたたき台作りに取り組むことになりました。

ぱれっとのスタッフ、理事、親の会、ボランティアなど、関係者を中心に行なったアンケート調査では、改善につながるいくつかの具体的な意見が出されました。多くの方からあがっていた声には、「隔月発行が望ましい」「写真をカラー印刷にする」などがあり、編集委員の中で、検討していくことにしました。

●新しい通信の発行回数

発行回数については、隔月発行にした場合の強みと弱みをあげて検討しました。これまで年10回発行していたものが6回になると、常に新しい情報を読者に届けることが難しくなります。そのことは大きな弱みに感じられました。特にたまり場の毎月のイベントをお知らせする「Let's Go」などの情報提供が隔月になることは、企画を立てるスケジュールにも影響してきます。一方で隔月発行にすることは多くのアンケート回答者からの希望でもあり、時間にも作業量にも余裕が生まれます。

またその際、隔月発行になったからと言って、質の低下や社会への問題提起が薄らぐ通信になってしまったのでは、新しくする意味がありません。全スタッフの協力や責任や覚悟といったものが、以前よりもより問われることを、編集委員の中で確認しました。

●隔月発行にした場合の強み

①カラー印刷

隔月発行にすると、印刷作業や発送作

業の回数は減り、紙やインク代の削減にもつながります。そうすることで、一部にコストの高いカラー印刷を入れることも検討できます。ただ写真の入っているページだけをカラー印刷にすると手間がかかってしまうので、表紙だけカラーにする、特別な月だけカラーにする等の案が出ました。

②特集記事の取り上げ方

隔月発行にすると、特集記事を通して一貫したぱれっとの理念を、質を落とさず提供するのに必要な時間を確保できます。テーマの選び方が重要になってくることを確認しました。

●年6回の発行月はいつにするか？

隔月発行にすると、何月に何月号を発行すればいいのかについても話し合いました。年間スケジュール表を作り、年間のお知らせや行事を書き込み、奇数月の第2週目発行という案がいいのではないかという意見が出ました。

●新しい誌面構成のたたき台を作る

アンケートでは「新しいコーナーについてのアイデア」も調査しました。「楽しめる(面白い)記事」「障害者自身の声」「Q&Aコーナー」「福祉の現状に関する記事」「各セクションの連載」等、様々なワクワクするようなアイデアがあがっていました。これらのアイデアを吸い上げた新しいコーナー案をもとに、現在、誌面構成のたたき台を作っているところです。編集委員 姫崎由美